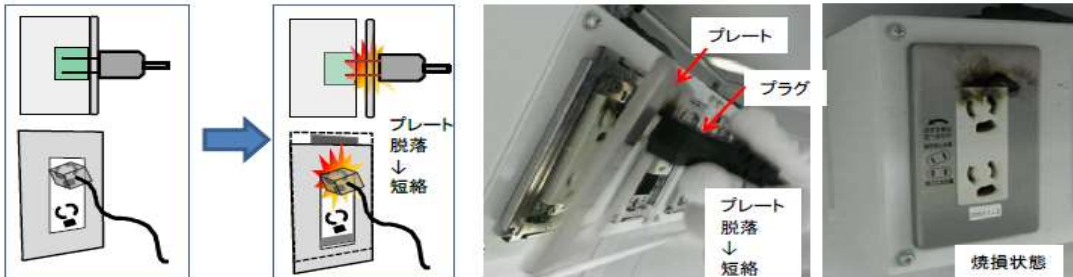


種別	工種	事例名	シート番号
その他	電気	コンセントプレートが落ち短絡事故が発生	5-12

不具合事例・状況

竣工後 施主がコンセントプラグを抜こうとした時に、金属製のコンセントプレートが外れ、プラグの2つの刃の間に引っかかった。その結果、金属プレートが電路になり、短絡した。（脱落状態によっては感電の恐れもある）



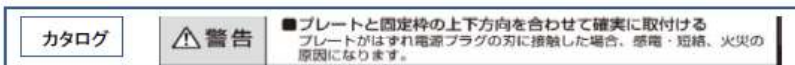
原因

問題となったコンセントプレートは「新金属Ⅱ型」という製品で、プレート固定にビスを使用しない方式のものである。プレートを固定するにはコンセント本体とプレートの間に「プレート固定枠」を上下正しく取付け、その固定枠に方向を合せてプレートをツメにより『はめ込む』。今回、固定枠を上下逆に取付けたため、プレート固定が完全でなく、脱落に至った。



背景

- ・従来から存在するビス止め新金属プレートの他に、ビス穴のないタイプをというユーザーからの要望に応え、1997年から上記の新金属Ⅱ型が発売された。
- ・しかし、開発当初から今回の不具合が懸念され、カタログ、製品ともに予見した警告を表示しているが、「プレート固定枠」のビス穴が上下シンメトリーのため上下逆に取付けてしまう可能性は払しょくできない。



対応

- ・建物内コンセント全数（1042か所）を点検し、17カ所の「プレート固定枠」の向きを修正した。（外観では異常がわからないので、プレートを外して、確認を行った。）

再発防止対策

- ・新金属プレートは「ビス止め型」を選定し、「新金属Ⅱ型」は原則として使用しない。
- ・施主要望により、Ⅱ型を選定しなければならない必要がある場合は、容易に識別できるように施工前に固定枠に「上」マーキングを行う。

※同様の機構を持つメーカーに対しても注意すること。



新金属Ⅱ型固定枠「上」マーキング

備考	参考文献：	制定	2023年3月1日
	参考メーカー：	改訂	